

# 平成30年 鳥羽市教育委員会会議録

## 第4回 定例会

場 所 鳥羽市教育委員会事務局 教育長室  
期 日 平成30年4月25日（水）  
開 会 午後1時30分  
閉 会 午後4時00分

出席委員	委 員	山 下 隆 広
	委 員	亀 川 聖 子
	委 員	江 崎 ユ ミ
	委 員	岡 村 忠 夫
	教 育 長	小 竹 篤

出席職員（説明員及び書記）	総務課長	世 古 雅 人
	学校教育課長	岩 本 和 也
	生涯学習課長 （書 記）	榎 高 広
	総務課長補佐	寺 本 晃 洋

件 名	日程第1 会議録（平成30年第3回定例会）の承認について
意見及び指摘事項 及び 事務局説明	【意見・指摘】 なし
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第2 諸報告について
報 告 事 項	<p>【報告】 (教育長)</p> <p>1. 諸活動</p> <p>3月29日(火) 鳥羽市開発公社評議委員会【本庁】 高校生サミットについての県教委説明【事務局】 鳥羽市武道振興会評議員会【市体育館】</p> <p>30日(水) 教育委員会退職辞令交付式(市職3名、教職員5名) 【事務局】</p> <p>本庁退職辞令交付式【市長室】</p> <p>4月 2日(月) 出向辞令交付【本庁】 教育委員会辞令交付【事務局】 予算説明会【商工会議所】 学校職員人事異動通知書交付式【商工会議所】 着任式(市外、新規採用者)【商工会議所】 講師辞令交付式【商工会議所】</p> <p>3日(火) 事務局内課長会議【事務局】 武道館・体育館職員辞令交付【武道館・体育館】 南勢教育支援事務所所長来庁【事務局】</p> <p>5日(木) 市人事評価制度についての意見交換【副市長】 県教育委員会学力向上推進プロジェクト【事務局】</p> <p>9日(月) 小学校入学式【市内小学校】 中学校入学式【答志・神島・加茂中学校】 鳥羽高校入学式【鳥羽高校】</p> <p>10日(火) 中学校入学式【鳥羽東・長岡中学校】 教職員組合志摩支部役員来庁【事務局】 『とばっこ探偵団』記者発表【事務局】</p> <p>11日(水) 三重県市町教育長総会【嬉野学習センター】</p>

報 告 事 項

- 12日(木) 校長会【商工会議所】  
鳥羽商船高専着任者来庁【事務局】  
県教育委員会市町教育支援・人事担当来庁【事務局】  
英語教育推進委員会【事務局】
- 13日(金) 母子寡婦会要望【市長室】  
三重大学塚本教授来庁【事務局】  
幼稚園・小中学校、教育委員会合同会議【扇芳閣】
- 17日(火) 全国学力・学習状況調査実施【各校】  
教職員組合志摩支部出口書記長来庁【事務局】
- 18日(水) 鳥羽市支援員研修会【市図書館】  
鳥羽高校訪問(鳥羽市と鳥羽高校の連携について)  
【鳥羽高校】
- 19日(木)～20日(金)  
東海北陸都市教育長会【愛知県常滑市】
- 21日(土) 鳥羽志摩幼稚園研究会総会【鵜方幼稚園】
- 25日(水) 三重県スポーツ推進局長来庁(国体担当)【市長室】  
定例教育委員会【事務局】

2. 諸報告

(教育長)

・今年の12月26日、27日に三重県教育委員会主催の「第2回高校生サミット」が開催されます。昨年度、南伊勢町で第1回が開催され、県内外の高校生約100名が集い、フォーラムやワークショップ等を通じて、その地域の産業を体験したり勉強したりしながら、意見交換を行うというような催しです。三重県教育委員会より、今年度は鳥羽高校を主会場として鳥羽市で開催したいとの申し出があり、3月29日にその説明を受けました。

市全体で取り組んでいくことから市長部局と連携を図っていくこととしています。

・今年度、小学4年生から6年生に配布する鳥羽の歴史本(副読本)「とばっこ探偵団」の記者発表を4月10日に行いました。本市における郷土学習の推進につなげていきます。

・3月13日、市長室において母子寡婦会から要望をお聞きしました。母子寡婦会は全国的な組織ですが、鳥羽市では会員が少ないため、県内数か所で開催されている中日新聞社主催のイベント「入学を祝うよいこの集い」が開催できないとのことでした。このため、中日新聞社に問い合わせたところ、伊勢市で開催のイベントを鳥羽市と鳥羽市教育委員会が後援す

報 告 事 項

るという形であれば、鳥羽市からも参加していただくことは可能とのお話でしたので、その方向で進めたいと思います。なお、このイベントは毎年1月20日前後に開催されますので、保育所の年長、幼稚園の5歳児に参加券を配布し、希望される方には参加していただくという形で準備していきます。

・4月18日に鳥羽市支援員研修会を行いました。今年度、各学校における支援員業務の均質化を図るため、5年以上の長期間にわたって同一校に勤めていただいた支援員の配置転換を行いました。併せて、支援員が担当する児童等に対する支援の記録ノートも、各学校によって異なっていた形式や記載事項等の改善を指示しました。

・同じく4月18日に鳥羽高校を訪問し、意見交換を行いました。今年度の鳥羽高校との連携事業として、菅島小学校、神島小学校が取り組んでいる「島っ子ガイド」と鳥羽高校が取り組んでいる「とぼっこクラブ」が連携し、市民に対する共同発表を行うことで、それぞれの取り組みをPRできないかといったことを協議しました。また、市立化した海の博物館の施設や資源を鳥羽高校の学習に活用していただきたいと伝えました。現在鳥羽高校ではデュアルシステムが採用されており、毎週金曜日には終日、学校外での実習が行われています。今年度は既にカリキュラムが決まっているようですが、来年度以降、鳥羽高校の学習の場として活用していただくことで、博物館としての魅力向上にもつなげていきたいと思っています。

・〈鳥羽東中学校在職中にお亡くなりになった中北教諭のお別れ会の様子について教育長より報告〉

### 3. 児童生徒及び学校の様子

(教育長)

#### (1) 各学校の入学式の様子

・小学校で4月9日に、中学校で4月9日・10日に入学式が行われました。どの学校においても適切な時間でスムーズに実施していただいたと思います。

〈各委員間で出席した学校の入学式について意見交換〉

#### (2) 昨年度の卒業式について[報告]

・卒業式の時間が長いということと、対面式では壇上に立つと真後ろにいる低学年の子どもたちが見えなくなるという点が気になったので、本当に今のままでよいのかということを改めて考えてほしいと校長会へ伝えました。

4. 市議会について

(教育長)

・3月27日に市議会本会議で表決があり、無事閉会しました。補正予算の内容等につきましては、前回の教育委員会で報告したとおりです。

5. その他

(教育長)

(1) 市町教育委員会関係三団体総会、連絡協議会総会、講演会について

・4月11日に山下委員とともに出席しました。総会では施設整備期成会という会があり、日本中の学校に教育の機会均等を保障するため、施設の整備に関して国への要望を行っているとのことでした。全国的な規模でそういった会があるということをお話いただきました。

・三重県の廣田教育長の挨拶の中で、次のことについてお話がありました。

- ① 全国高校総体の開催。
- ② いじめ防止条例（県条例）が4月1日から施行された。
- ③ 今年度幼稚園で新学習指導要領がスタート。2年後に小学校、3年後に中学校で順次学習指導要領が改定される。
- ④ 松阪市に特別支援学校「あゆみ」（高等部）が開校した。
- ⑤ 子どもの体力の向上について  
※種目によって強いところ弱いところがあるとのこと。
- ⑥ 働きやすい環境について  
※教職員の勤務時間縮減について

・講演会では、文部科学省生涯学習政策局情報教育課・相川係長にお話をいただきました。

30人のクラスが3クラスあれば1クラス30人分のコンピューターと無線LANの整備、1日のうち1限はコンピューターを活用した授業を行うことを目指していくとのことでした。また、ICTアドバイザー派遣事業の推進については地方財政措置が講じられているとのことですが、ただ、本市のように財務状況の厳しい自治体では、地方財政措置により国から交付される地方交付税等は、学校施設の維持管理費等の恒常的に不足している経費に充当される傾向が強く、実際には財政力の強い自治体とそうでない自治体との間で、ALTの配置やICT環境の整備等で格差が生じてきているのが現状です。教育の機会均等の面からも危機感を感じています。

**(2) 東海北陸都市教育長会議協議会について**

・愛知県常滑市で開催されました。全体的にCS（コミュニティースクール）がキーワードとなっており、多くの教育長がCSは定着するまでに時間はかかるが有効であるとの意見でした。まず、地域と学校の関わりがより深まり、地域と学校が一体となった取り組みが進むということでした。今年から来年にかけて、本市でも取り組みを検討していきたいと考えています。

・砺波市では、すべての幼稚園と保育園を認定こども園とし、教育委員会で運営しているとのことでした。幼稚園は文部科学省で保育園は厚生労働省、認定こども園は内閣府の管轄となり、建物の規格も異なるため、認定こども園を作るということは建物から手を加えていく必要がありますが、幼・保・小の連携が強化されているとのことでした。

・熊野市教育長に、尾鷲市を含めて同規模の自治体同士で意見交換をしようと提案しました。今後協議していきます。

**(3) 鳥羽市部活動ガイドライン作成について**

・文部科学省、三重県で部活動ガイドラインが作成されており、志摩市も4月の教育委員会を経てガイドラインが作成されています。中学校の部活で練習が多すぎるという見方がされている中で、働き方改革の一環として、国からは1週間のうち2日は休んでください、また、平日の部活は2時間、休日は3時間以内に収めてくださいということが示されています。学校現場におけるこれまでの慣例や保護者の意見も様々あり難しい面もありますが、国、県、近隣市でもガイドラインが作成されていますので、それに準じた形で鳥羽市部活動ガイドラインを作成して次回教育委員会に諮りたいと思います。

**(4) 鏡浦小学校の統合課題について**

〈鏡浦小学校の児童数の見通しに変動が生じていることから、統合に関して保護者との意見交換が必要な時期に来ていると判断し、教育委員会事務局で日程調整の上、説明会を開催する準備を進めることとした〉

**(5) ひらかれた教育委員会について**

・教育委員会事務局職員に対しては、学校現場へ出向いて、現場の声に耳を傾けてください。また、予算の執行についても備品の購入など遅滞なく進めてくださいということを伝えていきます。これらのことを含めて、ひらかれた教育委員会を目指して進めていきたいと思っています。

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p><b>【質疑・回答／意見】</b></p> <p>1. 諸活動について</p> <p>(委員D)</p> <p>4月2日に講師辞令交付式があったとのことですが、学校訪問等の際の参考にするため、学校ごとの講師の名簿を提供していただくことは可能ですか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>用意します。</p> <p>(教育長)〈補足説明〉</p> <p>新規採用教員に関しましては、今年は鳥羽市で4人が採用になっています。その4人のうち3人が鳥羽市出身です。</p> <p>(委員B)</p> <p>講師はすべて鳥羽市出身者ですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>講師の場合は、市町教育委員会がそれぞれの市町に対して講師登録をされた方の中から、なるべく地元の方を優先して採用するため、本市の場合は本市出身者の講師が多くなりますが、定員を超えたり、講師が保有する教員免許の教科と必要とする教科が合わない等の場合には、他の市町で講師として勤務する方もでてきます。</p> <p>(委員B)</p> <p>今年小中学校の講師として採用した新卒者は何人いますか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>6人程度です。そのうち2人が神島小学校、1人が神島中学校へ勤務していただきます。</p> <p>(委員D)</p> <p>支援員の人数は増えていますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>今年は現状維持です。全体的に学級減となってきましたが、特別支援学級が増える等、支援員を必要とする児童・生徒は増えていますので、三重県教育委員会に対して支援員の増員を要望しています。三重県全体でも、支援員の数は10年前の2倍になっているのが現状です。</p> <p>(委員B)</p> <p>支援員を必要とする児童・生徒が増えた理由を教えてください。</p>
----------------------------------	--

委員質疑確認 及び 事務局応答説明	(教育長) 子どもの発達について、保育所や幼稚園の先生方をはじめとする教職員の知識も深まってきており、また子育て支援に対する行政の働きかけも充実してきていることから、保護者としっかり向き合って就学前の段階から発達検査を受けるといったケースが増えています。また、以前と比べると特別支援学級に入ることに對して保護者の理解も進んだと感じています。
-------------------------	---

件名	日程第3 議案第13号 鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会規約の制定について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 平成31年度の鳥羽志摩地区内の市立中学校において使用する「特別の教科道徳」教科用図書及び平成31年度使用小学校教科用図書の採択について協議を行うことを目的としています。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件名	日程第3 議案第14号 鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会委員の任命について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会規約第5条の規定に基づき、教科用図書採択協議会委員を任命します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件 名	日程第3 議案第15号 鳥羽市学校評議員の委嘱について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 学校の管理に関する規則第13条の3第3項の規定に基づき、学校評議員を委嘱します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 (委員B) 学校評議員について、長く務めていただいている方もいると思いますが、任期等の上限はありますか。 (学校教育課長) 特に決まりはありません。人数も5名程度とされていて、厳密な定数はありません。
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第3 議案第16号 鳥羽市学校内科医の委嘱について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 学校の管理に関する規則第11条の3第2項の規定に基づき、学校内科医を委嘱します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議 事 結 果	承 認

件名	日程第3 議案第17号 鳥羽市中心身障害児就学指導委員会委員の解委嘱について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 鳥羽市中心身障害児就学指導委員会規則第5条第3項の規定に基づき、鳥羽市中心身障害児就学指導委員会委員を解委嘱します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件名	日程第3 議案第18号 鳥羽市学校体育施設開放運営委員会委員及び管理指導委員の委嘱について
担当課説明等	(生涯学習課長) 資料に基づき説明 鳥羽市学校体育施設の開放に関する規則第4条及び第5条の規定に基づき、学校体育施設開放運営委員会委員及び管理指導員を委嘱します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件 名	日程第4 その他 1. 後援依頼【事後報告】について 2. 後援依頼について
担当課説明等	<p>(総務課長) 後援依頼各申請 (写し) に基づき説明</p> <p>1. 後援依頼について【事後報告】</p> <p>(1) 平成30年度第68回「社会を明るくする運動」作品募集・表彰式典 【前回：平成29年第5回】</p> <p>2. 後援依頼について</p> <p>(1) 第19回南勢志摩陸上競技大会 【前回：平成29年第4回】</p> <p>(2) 「さとにきたらええやん」上映会 【前回：平成28年第6回】</p> <p>(3) 第7回敬老の日に葉書を送ろう 【前回：平成29年第4回】</p> <p>(4) インディアカ教室 【前回：平成29年第4回】</p> <p>(5) 世界につながる海 IN2018 【前回：平成29年第4回】</p> <p>(6) インターナショナルだよ！鳥羽の子ども達 【前回：平成29年第3回】</p> <p>(7) 東海社会人サッカーリーグ1部 【前回：平成29年第5回】</p> <p>(8) 鳥羽まちなみ水族館 【前回：平成28年第5回】</p> <p>3. その他</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議 事 結 果	承 認

件名	日程第4 その他 3. その他
担当課説明等	<p><b>【報告1】</b> ○はしかに関する注意喚起について (学校教育課長) 三重県教育委員会からも連絡があり、感染者の発生が報告されている沖縄へ修学旅行に行く神島中学校と答志中学校の2校に対し、事前に注意喚起を行いました。</p> <p><b>【報告2】</b> ○小中学校運動会、鳥羽市人権フォーラム、小中学校音楽祭の日程について (学校教育課長) 資料に基づき報告</p> <p><b>【報告3】</b> ○ふるさと給食について (学校教育課長) 今年度、「鳥羽が好き、ふるさと給食」の予算化を行いました。学期に1回ふるさと給食ということで、通常の給食費に1食あたり300円分を(年間3回で1人あたり900円分)を上乗せして給食を実施します。1学期は6月14日に加茂牛を使ったカレーとワカメやアラメ等の海藻を使ったサラダを提供する予定です。 ふるさと給食についてはプレス発表を通じて市民に周知するとともに、食育という観点から給食だよりを通じて保護者の方にも周知していきます。</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	<p><b>【質疑・回答／意見】</b> ○鳥羽高校存続へ向けた支援について (委員B) 今後、三重県教育委員会が南勢地域の県立高校を減らしていくという方針があるということであれば、市民のかたにもその状況をお知らせして、鳥羽高校の存続に向けた取り組みに対する支援と協力をお願いするということが必要と考えますがいかがですか。 (教育長) 教育委員会だけでなく、市全体で取り組んでいく必要があると思っています。早い段階で市長部局とも協議を行っていく方向で日程調整を進めていきます。</p>

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>(委員D)</p> <p>三重県教育委員会では、南勢地区のいくつかの県立高校をまとめて1校とするというような具体的な方針があるのですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>生徒数の推計から、平成31年度末には南勢地区の県立高校の学級を減らさなければならないということが確実な状況になっているため、どこで減らすのか(学級減)ということが南勢地区高校活性化協議会の中で話し合われているということです。例えば、鳥羽高校は現在2学級ありますが、それが1学級になったときに、単独の高校として存続できるのかということが問題になっています。1学年に1学級しかない場合には、基本的に南伊勢高校の度会校舎、南勢校舎というように、単独で1校というケースが他にありませんので、そのあたりをどう結論付けるのかということになります。</p> <p>最終的に、地元自治体とうまく連携が取れているかという点が判断基準になると思われしますので、鳥羽高校が単独で存続していくためには鳥羽市の支援が不可欠と言えます。</p> <p>市内に県立高校があることで、市民にとって経済的、時間的に少ない負担で高等教育が受けられるということが一番大切なことだと思います。また、県の施設が中央に集約されている中で、市内に県施設を存続させていくことも行政的観点から重要ですし、他市町から鳥羽市へ通学する生徒がいることで、より若者の力を生かしたまちづくりの可能性が広がるということもあると思いますので、市長部局ともしっかりと協議していきます。</p>
----------------------------------	---

午後4時00分 閉会